学校番号	413

平成 31 年度　地理・歴史科

教科	地歴科	科目	地理 B	単位数	4 単位	年次	3 年次
使用教科書	新詳地理B（帝国書院）　46　帝国　地Ｂ－304						
副教材等	新編地理資料2018（東京法令出版） 新詳高等地図(帝国書院)　46　帝国　地図－310						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

現代世界の地理的な諸課題を地域性や歴史的背景，日常生活との関連を踏まえて考察し，現代世界の地理的認識を養うとともに，地理的な見方や考え方を培い，国際社会に主体的に生きる世界の一員としての自覚と資質を養ってください。

2　学習の到達目標

異文化の理解及び地球的課題への興味・関心を持たせるため、アクティブラーニングや ICT を取り入れ、学ぶ態度を育成する。また、地理的な知識を深め、世界での事象を理解させる。そして地球規模での物の捉え方、思考・判断・表現できる力を身につけさせるため、自分の意見をグループ学習等で考えを共有し、意見を発表できる場を設けることで、思考・判断・表現できる力を磨くと共に、地理的な技能を身に付けさせる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	現代世界の地理的な諸課題に対する関心と世界が抱える課題に目を向け，それを追究するとともに，国際社会に主体的に生きる世界の一員として物事を捉えようとしている。	現代世界の地理的事象から課題を見いだし，地域性を踏まえて多面的・多角的に考察すると共に，国際社会情勢に対して、自らが判断し，考察の過程や判断した結果を適切に表現する。	地図や統計，こちらが提供する画像などの諸資料を収集・観察・考察し，有用な情報を選択，活用することを通して現代世界の地理的事象を追究する技能を身につけている。	現代世界の地理的な諸課題についての基本的な事柄や追究の方法を理解し，その知識を身に付けている。
評価方法	■ 主体的に学習に取り組めているか。 ■ 興味関心を持ち、自らの知識を増やし理解を深めようとしているか。 ■ 自らの意見を発表できているか。 ■ ノートに授業内容以外にも、しっかりとメモをとることができているか。	■ 理解した知識や活かし、ある課題や事象に対して、自らの判断で思考・考察し、意見を発表できているか。 ■ 自らの意見を自分自身の言葉で表現できているか。	■ 地図・統計・画像等の諸資料を収集・観察・考察し，様々な情報の中から必要な情報を選択できているか。 ■ 情報を活用し、現代世界の地理的事象を追究する技能を身につけているか。	■ 班別学習、個人ワーク、自宅学習を行うための課題を提出しているか。 ■ 自らが得た知識を発表できているか。 ■ 定期考査での点数。 ■ 班別小テストで、点数を取っているか。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

<table>
<tr><th rowspan="2">学期</th><th rowspan="2">単元</th><th rowspan="2">学習内容</th><th colspan="4">主な評価の観点</th><th rowspan="2">単元(題材)の評価規準</th><th rowspan="2">評価方法</th></tr>
<tr><th>a</th><th>b</th><th>c</th><th>d</th></tr>
<tr><td rowspan="6">1学期</td><td rowspan="5">第1部　様々な地図と地理的技能</td><td rowspan="3">①　地理情報と地図
1.　地図の発達
2.　地図の種類とその利用
3.　地理情報の地図化</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td rowspan="3">a.　地図の用途、使用方法が理解できる。
b.　地球儀上の位置の示し方や時差の考え方を学び，時差の計算ができるようになる。
c.　メルカトル図法，正積図法，正距方位図法で描かれたさまざまな地図を地図帳やインターネット等を使って集め，その特徴と欠点を理解し，用途に応じた適切な図法を選択できるようになる
d.　世界観の広がりとともに地図に描かれる内容が変化してきたことを理解し，現在見られる衛星画像や地理情報システムなど新しい地図表現の役割を理解する。</td><td rowspan="5">・授業態度
・発問評価
・提出課題
・班別学習テスト
・ノート提出
・定期考査</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td rowspan="2">②　地図の活用と地域調査
1.　地図の活用
2.　身近な地域の調査</td><td>○</td><td></td><td></td><td>○</td><td rowspan="2">a.　観光地図とインターネット上の地図を比較して，描かれていることと描かれていないことがあることを理解する。
b.　地理の言語としての地図，作成者の意図により取捨選択されている地図について，現在は住民参加の地図や触地図，バリアフリーマップなどさまざまな種類の地図が発行されていることから，目的に応じた地図選択の重要性を理解する。
c.　地形図を読む際の決まりごとを知識として身につけ，新旧地形図の比較から地域の変化を読み取ることを学習する。
d.　地形図学習のまとめとして，身近な地域の地形図を入手し，読図した結果を現地に赴いて確認し，地形図活用の有効性ついて理解を深める。</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td>○</td><td></td></tr>
<tr><td>第2部　現代世界の系統的地理的考察</td><td rowspan="2">①　自然環境
1.　世界の地形
2.　世界の気候
3.　日本の自然の特徴と人々の生活
4.　環境問題</td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td rowspan="2">a.　世界の地形について，大地形，小地形，そのほかの地形の分布や特徴，成因について考察するとともに，災害や土地利用など人間生活とのかかわりを考察することができる。
b.　世界の気候について，地域ごとの違いとその要因について理解を深めるとともに，気候区ごとの特徴や人間生活との関係を考察する。また，地球規模での気候変動と人々への影響を考察することができる。</td><td rowspan="2">・授業態度
・発問評価
・提出課題
・班別学習テスト
・ノート提出
・定期考査</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
</table>

学期	単元	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	第2部　現代世界の系統的地理的考察	②　自然環境 1.　世界の地形 2.　世界の気候 3.　日本の自然の特徴と人々の生活 4.　環境問題		○	○	○	c.　日本の自然の特徴と人々の生活について，地形や気候の特徴と，これによる自然災害の特徴を理解するとともに，土地開発の状況などもふまえて防災のあり方を考察することができる。 d.　世界の環境問題について，その背景や原因，影響，対策を多面的に考察する。また，日本国内の環境問題について発生した背景や問題解決への取り組みを考察することができる。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・班別学習テスト ・ノート提出 ・定期考査
			○	○		○		
		②　資源と産業 1.　世界の農林水産業	○	○		○	a.　世界の農林水産業について，自然条件や社会条件を知識として取り入れることができる。 b.　農林水産業について，自然条件や社会条件を関連づけて農業の地域区分をとらえることができる。 c.　現代世界の農林水産業の現状と課題を考察することができる。 d.　世界のなかでの日本の農林水産業の課題や役割を考察することができる。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・班別学習テスト ・ノート提出 ・定期考査
		2.　食糧問題 3.　世界のエネルギー・鉱産資源 4.　資源エネルギー問題 5.　世界の工業 6.　第三次産業 7.　世界を結ぶ交通・通信 8.　現代世界の貿易と経済圏	○	○		○	a.　食料問題について，世界の食料需給の地域的なかたよりを大観し，発展途上国と先進国の事例を考察し、また，日本が抱える食料問題を考察することができている。 b.　世界のエネルギー・鉱産資源について，それぞれの種類や分布，利用の現状や方法を考察するとともに。資源・エネルギー問題について，世界と日本の資源・エネルギー問題の原因や近年の動向，問題解決の取り組みを考察することができる。 c.　世界の工業について，工業・交通の発達過程や種類，立地とその変化，現状と課題を考察する。また，日本の工業の特徴と課題を考察することができている。 d.　第３次産業について，その特徴や発展の背景，地域差などをとらえるとともに，それによる国際分業の発展・拡大、貿易圏・経済圏の拡大に伴う、現代世界や日本が抱える諸課題について考察することができている。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・班別学習テスト ・ノート提出 ・定期考査
			○		○	○		
			○		○	○		
			○		○	○		
				○		○		
				○		○		
			○		○	○		

学期	単元	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
2学期	第2部　現代世界の系統的地理的考察	③　人口・村落・都市 1.　世界の人口 2.　人口問題 3.　村落と都市 4.　都市、居住問題	○		○	○	a.　世界の人口について，その分布の特徴や動態，人口構成や人口転換を考察することができる。 b.　人口問題について，世界の人口問題を大観し，発展途上国と先進国のそれぞれについて，その要因や対策をとらえる。また，日本の人口問題の課題と解決への取り組みを考察することができる。 c.　村落と都市について，その立地条件や発達の背景，村落や都市がもつ機能と人間生活のかかわりを考察することができる。 d.　都市・居住問題について，世界の都市・居住問題を大観し，発展途上国と先進国のそれぞれについて，その要因や対策をとらえる。また，日本の都市・居住問題の課題と解決への取り組みを考察することができる。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・班別学習テスト ・ノート提出 ・定期考査
			○	○		○		
			○	○		○		
			○	○		○		
		④　生活・文化・民族・宗教 1.　世界の衣食住 2.　民族と宗教 3.　現代世界の国家 4.　民族・領土問題	○	○		○	a.　世界の衣食住について，地域的差異があることに気づくとともに，世界的に画一化が進む現状を考察する。また，日本の衣食住の特徴やその変化を考察することができる。 b.　民族と宗教について，民族と言語，世界の宗教の分布や特徴，生活とのかかわりについて考察することができる。 c.　現代世界の国家について，国家と領域・国境のあり方，国家と主権の考え方，さまざまな国家と国家間の関係の課題を考察することができる。 d.　民族・領土問題について，現代世界の民族・領土問題を大観し，そのおもな原因と共生に向けた取り組みを考察する。また，日本の領土をめぐる問題や日本国内で暮らす外国人との共生の課題を考察することができる。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・班別学習テスト ・ノート提出 ・定期考査
			○	○		○		
			○	○		○		
			○	○		○		
		①　現代世界の地域区分 ②　現代世界の諸地域 1.　地域の考察方法	○	○		○	a.　地域区分の目的と意義を理解し，有用性に気づける。 b.　国・地域ごとの地域区分と考察の方法について理解することができる。 c.　自ら地域区分をすることができる。 d.　地域区分から、その地域が抱える問題を考察することができる。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・班別学習テスト ・ノート提出 ・定期考査
				○	○	○		

学期	単元	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
2学期	第3部　現代世界の地誌的考察	1.　東アジア	○	○		○	a.　世界各地での人々の生活・文化は，その地域をめぐる長い歴史や自然環境に影響を受けることが多いことを理解している。 b.　東アジアの自然と農業・工業を踏まえ第二次世界大戦後営まれてきた人々の生活・文化が，近年の経済発展でどのように変化してきたのかを理解している。 c.　東アジアにおける地理的感覚を養うことができている。 d.　東アジアと日本が抱える諸課題について考察し、今後の交流の形と将来の関係性について考察することができている。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・班別学習テスト ・ノート提出 ・定期考査
		2.　東南アジア	○	○		○	a.　世界各地での人々の生活・文化は，その地域をめぐる長い歴史や自然環境に影響を受けることが多いことを理解している。 b.　東南アジアという地域に注目し，農業などに大きく影響する自然環境や，現在の民族・宗教分布とそれにおける独自の文化圏の特徴を知識として身につけ，伝統と高い経済成長による生活や地域の変化ついて理解を深めている。 c.　ＡＳＥＡＮの結びつきや今後の発展の形について作業を通して理解している。 d.　東南アジア共同体の実現に向けた展望と課題について，さまざまな情報手段を用いて調べ，話し合うことができている。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・班別学習テスト ・ノート提出 ・定期考査
		3.　南アジア	○	○		○	a.　世界各地での人々の生活・文化は，その地域をめぐる長い歴史や自然環境に影響を受けることが多いことを理解している。 b.　インドを中心とした南アジアという地域に暮らす人々の民族・宗教分布の背景を学び，特に宗教と密接に関係した生活と変化について，理解を深める。 c.　南アジアの地理的感覚を養う作業を通して南アジアという地域を理解している。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・班別学習テスト ・ノート提出 ・定期考査

学期	単元	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
2学期	第3部　現代世界の地誌的考察	3.　南アジア	○	○		○	d.　南アジアの今後の展望と課題について，さまざまな情報手段を用いて調べ，話し合うことができている。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・班別学習テスト ・ノート提出 ・定期考査
		4.　西アジアと中央アジア	○	○		○	a.　世界各地での人々の生活・文化は，その地域をめぐる長い歴史や自然環境に影響を受けることが多いことを理解している。 b.　ムスリムが多く暮らし、宗教と生活・文化が密接に関わっている西アジア・中央アジアの暮らしに注目し理解している。 c.　厳しい環境下である乾燥帯であることを理解していると共に、イスラーム，石油の産出が多い地域性を、作業等を通してして身につけている。 d.　資源ナショナリズムの高まりの他、パレスチナ問題やイスラーム原理主義など激動する世界情勢について理解を深めることができている。	
		5.　北アフリカとサハラ以南のアフリカ	○	○		○	a.　世界各地での人々の生活・文化は，その地域をめぐる長い歴史や自然環境に影響を受けることが多いことを理解している。 b.　ネグロイド系の人々が多く暮らす中南アフリカが抱える課題に注目し，現在の国家や産業に植民地支配の傷跡が残っていることを理解している。 c.　中近東文化と中南アフリカ文化という文化に着目した地域区分にもとづき，気候と植生，歴史的背景と文化，一次産品への依存，生活の変化とほか地域との結びつきの面において，対照的な性格の二つの地域を比較して考察することが出来ている。 d.　課題を多く抱える地域ではあるが、日本の食を支えている関係を理解し、今後の日本との関係強化と、地域的特色への理解を深めることができている。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・班別学習テスト ・ノート提出 ・定期考査
		6.　ヨーロッパ	○	○		○	a.　世界各地での人々の生活・文化は，その地域をめぐる長い歴史や自然環境に影響を受けることが多いことを理解している。 b.　ＥＵの結びつきの過程と、それが抱える課題と解決策を考えることがで	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・班別学習テスト ・ノート提出

学期	単元	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
2学期	第3部　現代世界の地誌的考察	6.　ヨーロッパ	○	○		○	を考えることができている。 c.　ヨーロッパの中の地域性を、形式的な地域区分にもとづき，自然環境，歴史，文化、宗教、EU の結びつき，農業，工業，今後の動向という多様な事象を項目ごとに整理して静態的に考察することができている。 d.　一体化の進むヨーロッパ社会の現状を，作業を通して理解することができている。また，日本との結びつきを考察し，地域的特色への理解を深めることができている。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・班別学習テスト ・ノート提出 ・定期考査
3学期		7.　ロシア	○	○		○	a.　世界各地での人々の生活・文化は，その地域をめぐる長い歴史や自然環境に影響を受けることが多いことを理解している。 b.　ロシアとその周辺諸国について，ソ連時代からＣＩＳにいたるプロセスを理解している。 c.　ロシアが抱える課題について、亜寒帯が広がる自然環境に着目した地域区分にもとづき，自然環境，歴史，産業という多様な事象を項目ごとに整理して静態的に考察することができている。 d.　また，日ソ・日露と移り変わる時代の中で、日本との結びつきを考察し，地域的特色への理解を深めることができている。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・班別学習テスト ・ノート提出 ・定期考査
		8.　アングロアメリカ	○	○		○	a.　世界各地での人々の生活・文化は，その地域をめぐる長い歴史や自然環境に影響を受けることが多いことを理解している。 b.　移民の国アメリカ･カナダに注目し，その移民社会による、多文化社会の特徴を理解することができている。 c.　文化に着目した地域区分にもとづき，自然環境，アメリカ合衆国の移民国家としての発展，人口と都市，農業，科学技術と産業，世界に影響力のあるアメリカ合衆国，アメリカ合衆国との結びつきが強いカナダという多様な事象を項目ごとに整理して静態的に考察する。 d.　アグリビジネスやＩＣＴ産業に代表されるアメリカの先進性について，	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・班別学習テスト ・ノート提出 ・定期考査

学期	単元	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
3学期	第3部　現代世界の地誌的考察	8.　アングロアメリカ	○	○		○	理解を深めることができている。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・班別学習テスト ・ノート提出 ・定期考査
		9.　ラテンアメリカ	○	○		○	a.　世界各地での人々の生活・文化は，その地域をめぐる長い歴史や自然環境に影響を受けることが多いことを理解している。 b.　先住民や移民，混血など多様な人種・民族からなる中央・南アメリカの社会について理解している。 c.　文化に着目した地域区分にもとづき，自然環境，文化，大土地所有制と農業の変化，工業化と生活の変化という特色ある事象とほかの事象を有機的に関連づけて動態的に考察することができている。 d.　先住民独特の生活・文化や混血の国ブラジルと日系移民の歴史・生活，白人国家アルゼンチンなどを具体例に，その地域の課題も含めて理解しているまた，日系移民との関連性から、日本との結びつきを考察し，地域的特色への理解を深めると共に、日系移民として故郷の日本へ帰ってきていることを理解している。	
		10.　オセアニア	○	○		○	a.　世界各地での人々の生活・文化は，その地域をめぐる長い歴史や自然環境に影響を受けることが多いことを理解している。 b.　多文化社会のオーストラリア・ニュージーランドを中心に，太平洋諸島も含む他地域と結びつきを強めているオセアニアについて考察し、オセアニアについての，位置関係，自然環境，民族移動の歴史を学ぶことができている。 c.　形式的な地域区分にもとづき，一つの大陸と太平洋の島々，移民の歴史と多文化社会，強まるアジアとの結びつきという特色ある事象とほかの事象を有機的に関連づけて動態的に考察することができている。 d.　多文化社会のオーストラリア・ニュージーランドを中心に，他地域との関係性を地図で理解し，日本との結びつきを考察し，オセアニアという地域的特色への理解を深めることができている。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・班別学習テスト ・ノート提出 ・定期考査

<table>
<tr><th rowspan="2">学期</th><th rowspan="2">単元</th><th rowspan="2">学習内容</th><th colspan="4">主な評価の観点</th><th rowspan="2">単元（題材）の評価規準</th><th rowspan="2">評価方法</th></tr>
<tr><th>a</th><th>b</th><th>c</th><th>d</th></tr>
<tr><td rowspan="2">3学期</td><td rowspan="2">第3部　現代世界の地誌的考察</td><td rowspan="2">①　現代世界と日本
1.　日本が抱える地理的な諸課題
2.　日本が抱える課題の追求</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td rowspan="2">a.　現代世界において日本が抱える地理的な諸課題について，多面的・多角的に考察し，探究する姿勢がある。
b.　活動を通して，その解決の方向性や将来像について考察し、諸課題に対して、明確な対策や自らの意見をのべることができる。
c.　日本が抱える地理的な諸課題を、地図や作業を通して把握している。
d.　日本各地の特徴を理解することで、日本各地が抱える課題、または全体の課題を把握し、課題解決のために、意見を述べる事ができている。</td><td rowspan="2">・授業態度
・発問評価
・提出課題
・班別学習テスト
・ノート提出
・定期考査</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
</table>

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。